

アメリカの最終覚書に対するドイツの返書

4月30日付けの当紙でドイツとアメリカ合衆国の間に生まれている緊張について指摘した。アメリカはドイツに新たに覚書を送り、いささか遠回しながらイギリス貿易に対するわが国のUボート戦そのものを停止するように求めた。

ドイツがアメリカの要求に応じないことは事前から確定していたことで、問題はドイツがアメリカの希望に応じることが可能と思っていたのか、 それもどの程度なのかということであった。

わが国のアメリカへの返答文書をここに字句どおり掲載する。イギリスの新聞がこの返書を「ぎこちない (clumsy)」としているが、それは勝手にさせておこう。ドイツ側の観点からすれば、自慢して良いような文書である。

アメリカの中立性についてドイツがどう考えているかについて、以下に

掲載する個所ほど明瞭にアメリカに対して言われたことはほとんどない。 現下の状況から見て、合衆国政府が潜水艦戦争の不幸な犠牲者に対してかくも熱心に展開する人間性の感情が、イギリス政府が認める意図によって 餓死にさらされようとする何百万人もの女子供にも同じ暖かさをもって展 開されていないことに改めて遺憾の意を表する。イギリスの意図は女子供 の苦しみによって中欧諸国の勝利の軍を降伏に追い込むことである。ドイ ツ政府は、ドイツ国民と一致して、このような差別的処遇を理解できない。 ドイツ政府が潜水艦という武器を行使するにあたって、戦争勃発前に承認 されていたような国際法の規定を(大英帝国も同様に戦争遂行をこの規定 に沿って行う用意があればだが)守る用意があると繰り返し宣言してきた だけに、なおさらである」。

合衆国の不公平な扱いにもかかわらず、再度わが国の譲歩を示すために、 わが「U」ボート司令官に今後の規範として次のような命令が発せられた。 「国際法上認められている商船への乗船、捜索、破壊の原則に沿い、宣言 された戦争海域の外部、内部を問わず、警告と人命救助を行わずに当該船 舶を沈めてはならない。ただし、その船舶が逃走をはかったり、抵抗を試 みようとする場合はこの限りではない」。

ドイツ政府はこの新たな譲歩に、今後はわが国の敵国側からも国際法が守られることに、合衆国は配慮すべしという条件を付けている。敵国、とりわけイギリスに国際法の規定への遵守をさせる合衆国政府の努力が成功しなかった場合、わが国が何をするつもりであるかについては返書の最後の部分から疑念なく伝わってくる。

「もし万一、合衆国政府の取る措置によって、すべての交戦国民が人間 性の原則を持つという所期の目標が達成されなければ、ドイツ政府は新た な状況に直面することになろう。この状況に対しては完全な決定自由性を 留保せねばならない」。

混乱したさまざまな報道をもとに謎解きをする限り、アメリカ政府は満足の意を表している。とりわけ返書の結果として武装商船は、船長が自衛

のためにだけ武器を使うべしという明瞭な命令を受けていないときには軍艦と見なすということを公表した。われわれに最も重要と思えることは、将来武装商船に乗船するアメリカ人が何かあったとき、アメリカ政府が自分のために尽力してくれることをあてにすることができなくなることである。

この「ぎこちない」返書は完全な外交的成果を挙げたように思われる。

徳島体操協会競技会

5月14日~16日に徳島体操協会のチーム別競技会が催された。体操協 会は昨年 12 月に誕生し、約 80 名のメンバーを擁している。体操はドイツ 体操精神により育成振興が図られているものである。ここから、なぜ勝者 にその成績を称えて記念証書のみで、賞品などが授与されないのかという 理由が説明される。この競技会で出された成績は全般的には喜ばしいもの であった。最後の週の練習で見られた熱心さからすれば、それは当然のこ とであった。選手 51 名のうち 49 名が規定の 70 点を上げていた。体操は 6 組に分かれて行われた。器具には平行棒と跳び箱が指定され、これ以外 に徒手体操があった。1組は特別に鉄棒を付け加えた。陸上競技では、1 組と2a組が棒幅跳び、3組と3a組が棒高跳び、2組と2a組が高跳び、 2組が幅跳び、1組、3組、3a組とシニア組が高幅跳び、シニア組が静 止位幅跳びをした。演技は各組の訓練の進行程度と能力に応じて決められ、 事前に短い演技時間への配慮がなされていたので、評価の際にも厳密な基 準は適用されなかった。まず肝要なことは、自らの持つ体操への素質を呼 び覚まし、発展させることなのであって、その素質をさらに形成し、完成 させることはこれからの課題なのである。

競技会は、良い成績をあげたほかに協会にとってさらに、何人もの新たなメンバーの加入申し込みがあるという成果をもたらした。本当は、収容

所の全員が協会の体操に参加しないということが不思議なのだ。われわれ 全員兵士であるのだし、機会があればふたたび務めを果たすことができる よう肉体を鍛えておくことは当然の義務なのだから。多くの者は、体操協 会に入会する代わり、ひたすら自分の性に一番合うものだけをすれば、十 分だと思っている。体操協会での組織的、で体系的な活動が何物にも代え 難いという認識があまりに不足している。個々にについて述べる:最高点 を取ったのは 120 点満点中クノープが 105,5 点、バウアーファイントが 105 点であった。陸上凶器での最高点はクノープが 50 点、ヒューブナー とガイスラーが 49 点であった。器械体操(平行棒、跳び箱)と徒手体操 はバウアーファイントが 58 点、マイエが 57 点であった。特筆すべき成績 ということでは棒幅跳びでパウアーが 7.70m、クノープが 7.65m であった。 各組の上位3位は:

1組	バウアーファイント	133.5 点
	ヒューブナー	128
	ハウン	124
2組	グラウル	101
	アウアー	99
	モンゼス	98
2a組	クノープ	105.5
	パウアー	103
	ハンゼン	99
3組	ガイスラー	104
	クヴァルト	89
	ベッティンガー	88.5
3 a 組	クロイツ	100.5
	シュジツコヴィアク	95.5
	リンデンマン	90.5
シニア組 ボフニヒ		102
	フンピヒ	98.5
	グレーニング	97.5

スポーツ调間

来月半ばにスポーツ週間を催す計画が立てられている。前回のスポーツ 週間とは異なって個人競技があり、次の演技が予定されている。

- 1. 棒高跳び
- 2. 棒幅跳び
- 3. ドイツ式三段跳び 4. 耐久重量挙げ

- 5. 砲丸投げ
- 6. 高跳び
- 7. 高幅跳び
- 8. 幅跳び

チーム競技は次のとおりである。

- 1. ファウストバル 2. シュラークバル 3. リレー競走

ファウストバルに参加したいチームは今月21日(日曜日)にレンケル 上等兵曹殿に申込書を届けること。ファウストバルは次の2ブロックで競 技が行われる

第1ブロック

以前から練習を行ってきたチーム

第2ブロック

新しいチーム

振り分けは委員会が行う。

賞品には価値の高いものと日用品が授与される。すなわち、各競技につ いて

参加者5名超 — 賞2つ

参加者9名超 _ 賞3つ

である。

すべての競技の参加者については前回のスポーツ週間同様、上位3位ま でには特別賞が授与される。その際超過点は評価対象とはならない。

スポーツ週間の最後にはお楽しみゲーム(たとえば袋跳び、人間手押し 車、二人三脚など)が予定されている。

多くの人の参加を期待している。

委員会

演 劇

オットー・ルートヴィヒの『世襲森林監督官』でわれわれの演劇の上演能力に大きな課題が課せられ、そしてその課題に非常にうまく応えたことは、わが演劇団の冬の熱心な稽古が演劇面および技術面にもたらした進歩のもうひとつの証左であった。

しかしながら、たとえどれほど熱心に稽古したとしても、もし参加者達の生来の演劇的才能の支えがなければ、先週の日曜日のような上演までには至らなかったであろう。幸いにも、われわれはそのような演劇才能を持つ者には事欠かない。

まずトップにあげられるのはオールである。タイトルロールを張る彼の 演技は偉大さと世間とは隔絶した存在を示す点で申し分なかった。発音の 明瞭さと幅の広い役割をしっかりと演じきっている点は特別に称揚するに 値する。その彼に続くのは、シュマーレンバッハ、カンプチク、ケンプ、 リヒァルト・ケラー、フローリアン・ケラーおよびシュテーフェンスである。 掛け合いの絶妙さには非常に感動をおぼえたが、これは愛好家による上演 ではしばしば欠落しているものであるが、成功への重要な前提条件となる ものである。

舞台装置は今度もまた微細な点に至るまで愛情こめた丁寧さを示すものであった。頻繁な場面転換もうまくいっていた。

収容所展望

町中に男児の祭(端午の節句)のための高い柱が立てられるのを見るのは、これで2度目となる。1回目からもう一年も経つとは、信じられないぐらいである。男児の祭の日は5月5日であるが、このような田舎では旧暦に従うので、約2週間遅れとなる。男の子たちは祭りの日の親類や友人

から沢山の贈り物をもらう。武器・旗・鎧兜・戦争ゲーム・おもちゃの侍人形・とりわけ布や紙でできた鯉。この鯉は、男児が鯉のようにあらゆる障害を乗り越え、前進するようにという思いを表す。去年男児が生まれた家庭では、先端に松の枝を取り付けた竹竿が立てられる。その柱には、贈られた布や紙の鯉が上げられ、それが風を受けて膨らみ、泳いでいるかのように見える。

この2週間にも、さまざまな気分転換が提供された。第1週目は、毎日 運動場に競技をしに出かけた。それから日曜から水曜まで、体操協会の競 技会が開催された。これは中断することなく行われた。心配していた雨は、 古参組の重量挙げでもって全種目が終了した後に降り出すという気配りを してくれた。午後に予定されていた体操競技はもちろん中止となった。授 賞式は夜に行われ、その後楽団の小コンサートがあった。体操には大きな 関心が寄せられ、大勢の観衆が個々の演技を批評家の目で眺めていた。

ことしは蚊が異常に早く、大量に発生した。今は刺されてもまあ何とか 我慢できるが、暑い季節に向かってとんでもない見通しになりそうだ。も うすでに蚊帳が、ベッドの上に張られている。しかし血に飢えた厄介者は、 隙あらばくぐりぬけてくるのである。

川では今、中学生たちが熱心に競漕大会のための訓練を行っている。その際大事なことは、大声を上げることらしい。血の気の多い悪童が何人か、もう泳いだり、水をはねたりして楽しんでいる。われわれにとってはおそらく今年も、水泳禁止が続くのだろう。演劇集団が先々週、ルートヴィヒの『世襲森林監督官』を舞台にのせた。筋が面白く、演技の良さと巧みな演出によって観客の心を捉えていた。ただしその効果は私には、われわれの期待とはかけ離れた劇の結末によって、表面的なものになりはしないかと疑問に思われる。

演奏会

先週水曜日の体操選手への賞状授与式で、わがオーケストラの第 37 回 演奏会が行われた。その曲目を完全を期すために遅くなったが記載してお く。

行進曲「捧げ銃」 アイルボウト
 歌劇『ストラデラ』序曲 フロトー
 「春の歌」 メンデルスゾーン
 「愛の夢」 R. ベッカー イェッセル ビーダーマイヤー時代のキャラクター・ピース

6. 故郷の歌行進曲 リンデマン

5月28日、日曜日に第38回演奏会が開催された。曲目は以下のとおり。

歌劇『プレチオーザ』序曲 ウェーバー
 「金婚式」 古風なアリア ガブリエル - マリー
 歌曲「若き頃」のパラフレーズ フリードマン
 ワルツ「バラの鎖」 イェッセル
 行進曲「わが相国ドイツ」 イェッセル

図書室

以前告知されていた図書室の目録は今週前半には仕上がるので、さしあた り水曜日には本のきちんとした貸し出しが再開されるはずである。

日本 YMCA (キリスト青年協会)から贈り物として、新しい本がかなりの数量届けられた。この寄贈品には多数の良い短編、自伝、信仰心を高める

読み物、科学領域の理解しやすい論文などが含まれる。著者と題名をすべてここで挙げるには多すぎるので、何冊かの良書をここに記しておく。

ビヨルンセン 『シノーヴェ・ソルバッケン』

アイヒェンドルフ 『撰集』

ゲーテ
『ライネケ狐』

デーテ 『ゲッツ・フォン・ベルリッヒンゲン』

ヘッベル 『聖戦』

ユング - シュティリングの生涯』

ケラー 『七人の正直者の小旗』

クーゲルゴイ 『ある老人の青春の思い出』

リーリエンクローン 『戦争小説』、詩

メンデルスゾーン 『王 (フリードリヒ大王)』

メーリケ 『プラハへの旅路のモーツァルト』

ラーベ 『最後の正義』、その他

ランツァウ 『人生の奈落より』

リヒター 『あるドイツ画家の回想録から』

シラー 『ヴィルヘルム・テル』、詩

内村 『日本の偉人』

チェス・コーナー

(駒の略語 $K = + \lambda J$ 、 $D = D J - \lambda$ 、L = U D D D D、 $S = + \lambda J - \lambda$ $D = \lambda J$ $D = \lambda J$

第111間の解答

第 112 間の解答

1. Tg6 - g4 任意の手 1. Sf2 - e4 Kd4 x d3

2. D. S. L 2. Dg5 - c5 Kd3 x e4 あるいは

任意の手

3. Lg4-f5 (DかS)で詰み

1. Sf4-d5

2. $Dg5 - e5 + Kd4 \times e5 (Kd4 \times d3)$

3. Sh2 - f3 (Se4 - f2) で詰み

この他の変化も容易

第113間

白:Kh3, Dh8, Tb4, Lg1, Sc4, Be2, e4, f5

黒: Kf4, Tb7, Be5, f6, h4, h5

2手詰め

第114問

白:Ka3, Db5, Ld1, e3, Bb6, d2 d5

黒: Kd3, Lh8, 2, Ba5, b7, e5, c7

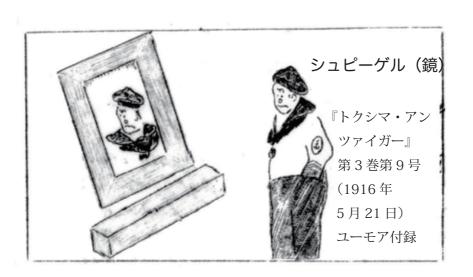
3手詰め

勝つのは誰か

(華徳日報から抜粋)

戦争が勃発したとき、中立国ではドイツの命運は風前の灯火という確たる見方が一般的であった。ましてやイギリスではドイツの敗北は早々に避けられないものとなると確信されていた。1914年『タイムズ』紙は交戦国双方の住民数を算出し、人数が少ない中欧諸国は戦争に敗れるに違いないという結論に達していた。その同じ頃、財務大臣であったロイド・ジョージ氏はかの有名な最後の銀の玉をもて遊んでいた。1915年にロード・ジョージ氏は、状況はイギリス財務大臣よりもドイツの財務大臣にとって有利だと認めざるを得なくなり、同じ『タイムズ』紙はおずおずと、人間の数が多いだけでは勝利を保証できる訳ではないと書いた記事を載せた。その間、ヨーロッパ内外の中立国では、ドイツが最終的な勝利を収めるということを確信するところが非常に数を増したのである。

つづく





労働証

労働は人生を甘美にする

と今日だれしも考えている

毎日4銭の労賃

これは人々には大した金だ

だからヴィルヘルムは事務所に出向き



だから身を滅ぼすこともないだろう

農場の若い働き手になるのも

良いのではないかと、エーミールは考える

強い日差しにも

手持ちの熱帯帽が守ってくれる

下水の清掃は

本当に楽しくない仕事だ

たしかにその口は多いのだが

人が集まらない

靴屋、家具屋、指物師

鍛冶屋その他もろもろ

彼らにはむしろ

仕事がある

だが金を持たない者は、

何もできない

だからますます

悪い目に遭う

だから、

ぐずぐずせずに

こういった仕事のひとつにでも手を出さねばならない



二人の会話の盗み聞き

な、カール、 去年、蚊帳に のに今年は ひどいんだ。 名前を書き付けておいた 蚊帳がもらえないんだ。

大丈夫、アウグスト、散歩のとき事務所に行って、 蚊帳の配布がある前にひとつもらっておくんだ。 いいや、そいつはだめだ。例外はないからな。

> とんでもない。ここは集団生活だから、 いつでもこう考えなきゃならないんだ。 「自分ほどかわいいものはない」とね。 そうするのが一番うまくいくやり方だ。